

山田北IC フル化への要望活動の具体は

課題や必要性の整理を進め、
効果的なタイミングで要望を行なう



佐藤克典 員
(政和会)

三陸沿岸道路山田北インターのフル化については、岩手県三陸沿岸道路整備促進期成同盟会などともに実現に向け要望していくとのことであつたが、この一年間、どのような要望活動を行ってきたのか。地域住民の「フルインター化」の実現への願いが、どの程度まで三陸国道事務所に伝わっているのか。また、今後の要望活動の具體について伺う。

佐藤町長 山田北インターのフル化について、開通後の重要な取り組み課題であることを確認しております。今後も必要な道路関連予算確

台風19号による大雨は、甚大な被害をもたらした。地球温暖化の影響により、50年確率の災害が、今や数年ごとに襲来しているといつても過言ではない。従前の原形復旧では対応できない状況である。昨年末から今年始めにかけて、国による災害査定が実施されたと思うが、機能強化いわゆる改良復旧が認められた。改修が認められた道路、河川の箇所数はどれくらいあるのか伺う。

町長 国の災害復旧事業は、元年度においても三陸国道事務所及び宮古市との打合せを通じ、全線開通後の重要な取り組み課題であることを確認しております。今後も早期整備

災害査定で改良復旧が認められた箇所数は

道路10カ所、河川8カ所である

問 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、繫橋の補修工事を実施するとのことだが、工事期間はどの程度見込んでいるのか。工事施工に当たっては人の歩ける広さを確保して仕事を進めるのか伺う。

問 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、繫橋の補修工事を実施するとのことだが、工事期間はどの程度見込んでいるのか。工事施工に当たっては人の歩ける広さを確保して仕事を進めるのか伺う。

保等に関し、要望活動を行ってきた。三陸沿岸道路は2年度末までに全線開通となる見通しであることから、「フルインター

化」のための課題や必要性の整理を進めながら、期成同盟会とも連携し、適切かつ効果的なタイミングで要望活動を行う。

繫橋補修工事にあたっての通行スペースは

歩行者の通行スペースは確保する

ついて施工期間は2カ年を予定している。幅員は5メートルと狭いことから、施工中は安全性を考慮し、車両は全面通行止めとするが、歩行者用の通行スペースは確保したいと考えている。

問 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、繫橋の補修工事を実施するとのことだが、工事期間はどの程度見込んでいるのか。工事施工に当たっては人の歩ける広さを確保して仕事を進めるのか伺う。

問 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、繫橋の補修工事を実施するとのことだが、工事期間はどの程度見込んでいるのか。工事施工に当たっては人の歩ける広さを確保して仕事を進めるのか伺う。



長寿命化修繕計画に基づき補修する繫橋

その他の質問

◆ 閉校後の学校施設の活用計画について地域の意見を聞く場を設けるべきではないか